

授業科目 卒業研究

【担当教員名】 江原 義弘 他		対象学年	4	対象学科	義肢
		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	60
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	◎	◎	◎	
【一般目標：G10】 義肢装具ならびに福祉用具にかかわる研究を行う。					
【行動目標：SBO】 1. これまでに学習した知識を生かした研究ができる。 2. 科学的評価手法を正しく実践して、評価結果を正しく解釈できる。 3. 社会に貢献できる研究が遂行できる。 4. 自主的に研究ができる。 5. 仲間と助け合って研究ができる。 6. 結果をわかりやすくプレゼンテーションできる。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	文献検索			1, 4, 5	全員
2	文献検索			1, 4, 5	全員
3	文献検索			1, 4, 5	全員
4	研究計画			1, 4, 5	全員
5	第1回中間発表			1, 3, 4, 5, 6	全員
6	実験			1, 2, 3, 4, 5	全員
7	実験			1, 2, 3, 4, 5	全員
8	分析			1, 2, 3, 4, 5	全員
9	分析			1, 2, 3, 4, 5	全員
10	第2回中間発表			1, 2, 3, 4, 5, 6	全員
11	論文執筆			1, 2, 3, 4, 5	全員
12	論文執筆			1, 2, 3, 4, 5	全員
13	論文執筆			1, 2, 3, 4, 5	全員
14	発表リハーサル			1, 2, 3, 4, 5	全員
15	研究発表会			1, 2, 3, 4, 5, 6	全員
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 第1回中間発表を評価する。(計画が立案できる知識を身につけているか) 第2回中間発表を評価する。(社会に役立つ研究を進めているか。自主的に進めているか。仲間と助け合って進めているか。) 研究発表を評価する。(科学的評価手法を正しく実践して、評価結果を正しく解釈できているか。わかりやすいプレゼンか。) 論文の質を評価する。(社会に貢献できる論文になっているか。)				【履修上の留意点】	